

# ミャンマーの交通インフラ改善を支援

## 埼玉県企業の PC 橋梁技術による貢献

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」において株式会社 エム・テック(埼玉県さいたま市、向山 照愛代表取締役)が提案する「現場条件に適応したプレストレスト・コンクリート橋工事業に関する可能性調査」(ミャンマー)を採択しました。

ミャンマーでは物流などに不可欠な道路整備は著しく遅れている上に、都市部等での交通量の急増や車両の大型化に直面しており、かつデルタ地帯をはじめ多くの橋梁を必要としていることから、その建設促進は喫緊の課題となっています。

今回提案のプレストレスト・コンクリート(PC)を使用した橋梁は、塗装の塗り替え不要など維持管理が安価かつ容易で長いスパンでの利用が可能で、更に舟運を阻害しないという現地側の要件も満たすことから、今後同国でのPC橋の需要が見込まれます。

同社では国内の工場で高品質なPC部材を製作するとともに、創業以来現場での橋桁の製作・施工も多く手掛け、高い品質と施工の効率性・安全性を実現する技術を蓄積しています。



出雲バイパス新神立橋上部工工事



高松自動車道 大谷川橋(PC上部工)工事

本調査ではPC橋工事の現地民間セクターへの請負移行を見据え、JICA技術協力の成果を生かしつつ、日本国内の現場でのOJT方式の研修などによる合弁企業への技術移転を前提に、現場条件に適応できる工法による工事業の可能性を探るものです。

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「基礎調査」(注)として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注)基礎調査は、優れた製品や技術力を有する中小企業が、途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及びODA事業との連携可能性を検討するためのもの。企業は、検討に必要な基

礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を行う。2017年度第1回は今年3月に公示を行い、13件が採択。

参考:(プレスリリース)基礎調査2017年度第1回公示の採択結果について

[https://www.jica.go.jp/announce/notice/fs/ku57pq00001ynho4-att/fs\\_170308\\_result.pdf](https://www.jica.go.jp/announce/notice/fs/ku57pq00001ynho4-att/fs_170308_result.pdf)

**【本件に関する問い合わせ先】**

JICA 東京 市民参加協力第一課 担当: 稲澤

TEL:03-3485-7680 FAX:03-3485-7025

e-mail: Inasawa.Sadaka@jica.go.jp